

県盗難防止協議会総会に参加

六月二十九日、栃木県乗物等盗難防止協議会総会が開催され、組合から県本部山内委員長が出席しました。

県警幹部から、隣県の茨城県では今年「ヤード条例」を制定したことに伴い、盗難が激減していることが報告されました。

盗難車解体の温床とされている「ヤード」は条例のない福島県に移動しているとの情報



中古車解体施設「ヤード」の立ち入り検査で車体番号を調べる捜査員。(6月茨城県坂東市)

豪雨災害続発・車両水没時は

年々各地で豪雨災害が増えていきます。九州北部を襲った豪雨災害から一週間後、佐野市内でも一時間に51ミリを超える集中豪雨が発生しました。市内各所で水没により動かなくなった乗用車が。

豪雨で車が停止した場合、まずシートベルトをはずし水圧でドアが開かなくなることに備える必要があります。ドアも窓も開けられなくなつた場合に備え、窓ガラスを割ることができる小型ハンマーを常備しておくことをお勧めします。



7月12日佐野市内1時間51ミリ。川になった産業道路高萩町付近

【組合員紹介】 海コンドライバー 築館清美さん(夢沼運輸)

安心して働ける職場めざして



コンテナ内の積載は輸出国。慎重な運転が求められます

貿易立国日本の物流を最前線で支えているのが海上コンテナドライバー。築館(つきたて)さんも日夜東京湾に海外から搬入されるコンテナを運搬しています。

築館さんの勤める会社夢沼運輸(佐野市)はパラセメント、ダンプ、海コントレイラーなどを所有する地元企業です。

同社では約六年前、解雇事件が発生し組合が関わりましたが、組合結成には至りませんでした。今年三月、築館さんは職場の同僚から勤務中一方的に暴行を受けました。警察では刑事事件として立件し、暴行を加えた運転手を書類送検しています。就業時間中の事件であり、会社は厳重に対応すべきです。ところが、社長は築館さんの訴えを無視し、組合からの申入れも拒否してしまいました。

七月二〇日、三回目の団体交渉でようやく加害運転手本人が謝罪しましたが、事件発生から四カ月もたっています。

会社のこのような対応に他の運転手からも不安の声が上がっています。不明瞭な賃金体系など、様々な問題も明らかになっています。築館さんは安心して働ける職場にするため、仲間と活動をすすめています。

佐野ラーメン放浪記⑩

【ほりこし(金井上町)】



関東三大師「佐野厄除け大師」の近く。細い路地を入って行きます。古い街並みの残る地域です。厄除けに車を止めて歩いていくことをお勧めします。創業昭和23年の老舗ですが、路地裏にあるおかげで「知る人ぞ知る店」のみです。

ご夫婦だけでやっている狭い店です。しかもご主人は出勤もやってるので、昼間は相当忙しそうです。見ると配達を手伝いたくなります。さて味です。佐野ラーメン店には百軒以上ありますが、死ぬ前に一軒だけ行けるとしたら選ぶのはたぶん「ほりこし」でしょう。食欲があればですが...



佐野唯一の銭湯「おばな湯」



「ほりこし」の向かいにあるのが佐野市内で唯一の銭湯「おばな湯」です。創業百年以上、浴室の梁は当時のままだとか。営業時間が短く、客も近所の高齢者が中心のようで、どう見ても経営はきびしそう。ぜひみなさん行ってみてください。ただしお湯は「激熱」です。

年々「自然災害」が身近になっていきます。組合が扱う全労済の「自然災害共済」なら、年間掛け金一万八千円で最大422万円まで補償(木造で風水害による床上浸水の場合)。ご検討ください。